



天を造り出し、  
これを引き延べ、  
地とその産物を押し広め、  
その上の民に息を与え、  
この上を歩む者に  
霊を授けた創造主は  
こう仰せられる。  
わたし、主は、  
義をもってあなたを召し  
あなたの手を握り、  
あなたを見守り、  
あなたを民の契約とし、  
国々の光とする。

## 「永遠の福音」



↑ジーザスカレッジ神学校@ネパール



彼は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。彼は大声で言った。「神を恐れ、神をあがめよ。神のさばきの時が来たからである。天と地と海と水の源を創造した方を拝め。」

黙示録 14:6-7

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

↑ジーザスカレッジ神学校の学生と@ネパール

### インドとネパール短期創造宣教

今年2月6日から26日まで、インドとネパールの教会・神学校などで創造を伝えてきました。

最初に向かったのはインドのチェンナイ（旧マドラス）で使徒トマスが宣教し、殉教したと伝えられている場所です。トマスの墓があるとされている場所にはカトリック教会が建っていました。

インド北東部の西ベンガル州コルカタでは共産主義政権が長い間

支配した結果、進化論教育と自由主義神学の影響を強く受けていて、聖書をそのまま信じる教会が激減しているとのことですが、南部のチェンナイでは、ほとんどの人が創造を信じる環境の中で育ちます。ただし、近年学校で進化論が教えられるようになり、若者の中には無神論者も増えているとのこと。

私が創造の1週間について講義したある教会で、礼拝後に牧師の父親（イタリア人の船乗りで退職

後インドに移り住んだ）が私のところに来て、

「この教会でこのような聖書的創造のメッセージがなされたのは初めてです。これは聖書信仰の土台だからますますこのようなメッセージがインドで語られなければならない。次に来る時も是非語ってほしい」と頼まれました。

また、牧師の息子の友人（無神論者だったが今は求道中の科学者）は「創造が絵空事ではなく理にかなっていることがわかった。」

インドのアルコット近郊の教会  
 ←牧師聖会の昼食/バナナの葉のお皿、↓牧師聖会


インド/チェンナイの教会



と述べ、私が「創造主がこの世界を造られたことを信じますか。」と聞くと目を輝かせ、「信じます。」とうれしそうに答えました。

チェンナイから車で2時間あまり内陸に向かったアルコット郊外の教会で、牧師たちの聖会がありました。彼らのほとんどは、新約聖書からしか聞くことも語ることもなかったようで、創世記からのメッセージに新鮮な面持ちで喜んで講義を聞いてくれました。

今回のインドの旅と人々の反応を通して、インドでも聖書的創造が伝えられる必要性をひしひしと感じました。

次にネパールのカトマンズに飛びました。ネパールも公立学校では進化論が教えられるようになり、牧師たちは危機感を覚えています。会った牧師たちの多くが、自分も聖書的創造を伝えられるようになりたいと願っていました。

そのような牧師たち約20名とミーティングを持ち、今後ネパールでどのように聖書的創造を伝えていくかを話し合いました。

またカトマンズに古くからある神学校、ジーザスカレッジで学生たちに3日間に渡って聖書的創造の講義をしました。

自分も創造論を伝えられるようになりたいという学生もいて、皆が熱心に耳を傾けてくれました。

今回の短期創造宣教を通して強く思わされたのは、インド南部やネパールのような、ほとんどの人が創造を信じている国においても、創造を学ぶと、人々が本当に生き生きとすることです。私たちが造られた創造主がおられるということは、すべての人にとっての素晴らしい福音なのだと思つづく実感しました。

### 天地創造と新約聖書

ダーウィンの進化論は、人の推測であって証明できません。しかし進化論が科学として扱われているため、クリスチャンを含む多くの人が進化論が証明された事実だと思込んでいます。

その結果、進化論と相反する創世記1章から3章の記述、天地創造と墮落を信じられないのです。

しかし、新約聖書には、創世記に度々言及し、創造や墮落を史実として福音を語っています。

逆にこれら創世記の最初の部分が史実でなければ、救いの福音も、その根拠を失ってしまうのです。

### 救いの福音と永遠の福音

福音とは何でしょう。

**「罪のない御子キリストが、人々を贖うために十字架で身代わりに刑罰を受けて死なれ、三日目に復活し天に昇られました。それを信じる人々は永遠の死から救われ、永遠の命があたえられる」**

これは救いの福音の要約です。私はまだ信仰を持ったばかりで聖書理解が今より乏しかった15歳の頃、この福音だけが福音だと思っていました。そのため天地創造は大事ではなく、キリストの救いこそが大切だと考えました。

そう考えたのには、実はもう一つ大きな理由があります。それは公教育で進化論が教えられていたことです。私の友人たちは学校で教えられている進化論を鵜呑みにしていました。ですから、「進化論は間違っている。世界は創造された。」と言って論争の火種を置いたり、周囲から変に見られたりするのを避けたかったのです。

しかし今は、「天地を創造した方がおられる」こと自体が大いなる福音であることを知るようになりました。黙示録ではこれを「永遠の福音」と呼んでいます。

誰でも人には親がいますが、子供にとって親がいること自体がとても良い知らせです。もしみなさんに親がいなかったとしたらどうでしょう。そう考えると、親が存在することがどれだけの良い知らせかがわかるでしょう。

それと同じように、天地万物を造り、人を創造した天の父がおられ、私たちが愛しているということは、私たちにとても素晴らしい福音なのです。

墮落前のアダムとエバにとっても、墮落後の世界に住む私たちにしても、やがて救われた人が住む御国においても、父なる創造主がおられることは福音です。

そう考えると「永遠の福音」ということばはまさに当を得た表現です。巻頭の聖書箇所で、天使は大声で叫びながら、人々に創造主を畏れ敬いあがめて生きるように呼びかけます。これこそ創造主の恵みと祝福を受ける秘訣です。

### 創造主のかたち

造られたばかりのアダムとエバにとって、自分たちを造り、助け導かれる創造主が共におられることは素晴らしい福音でした。彼らは日々、敬愛する主と会うことを楽しみにしていました。

では、創造主のかたちを与えられた最初の人の性質は、今日どう違ったでしょう。

彼らは創造主のような完全な愛と正義をもち、誠実で従順で善意に満ちていました。アダムと彼の助け手として造られたエバは、創造された世界を喜び、よい管理者として愛と慈しみをもって自然環境と動植物を支配することができました。そこには、完全な人の姿がありました。罪のない彼らには死がありませんでした。

パウロはアテネの町で証言してこう述べています。**「神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して・・・」**使徒 17:26

ここでパウロは、最初の人アダムからエバが造られ、アダムとエバからすべての人が造られたという創世記1-2章の記述をそのまま教えています。さらにパウロはこう述べています。

**「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、——それというのも全人類が罪を犯したからです。」**ローマ 5:12

パウロは、創世記3章の墮落の出来事を歴史的事実だと確信していて、アダムの罪の結果、罪も死も世界に入ったのだと教えています。その墮落後の世界こそ、私たちが目の当たりにする世界ですから、墮落前の世界を知らなければ、墮落後の世界だけが現実のように思ってしまうのです。

しかし、墮落前の世界が実際に存在したことはパウロの証言からはっきりとわかります。そして、私たちもそれを信じることも重要です。なぜなら、墮落前の

ネパールの首都カトマンズ/トタンで囲われた手作りの教会



世界が存在したことが、救いの福音の土台となっているからです。

## 「墮落」と「救いの約束」

サタンの誘惑によって善悪の知識の木の実を食べてしまったアダムとエバは、自分たちの罪が引き起こした呪いに、悲嘆にくれたことでしょう。

創世記3章に、その呪いが簡単に記されています。

- 1) あらゆる家畜、野の獣が呪われる。
- 2) 蛇はそれらよりもさらに呪われる。
- 3) 妊娠の苦しみが増す。
- 4) 土地が呪われる。
- 5) 労働に苦しみが加わる。
- 6) 植物が呪われる。
- 7) 肉体の死が入るなど。

墮落の前後の変化をアダムとエバほど実感できた人はいません。彼らは、自分たちが本来もっていた創造主のかたちも大幅に失ってしまいました。愛も正義もさまざまな美徳も不完全になり、変容してしまいました。

それまでのような創造主と人との関係が断たれ、エデンの園から彼らは追い出され、多くの人々が創造主を無視して生きようになりました。

人々は罪の性質をもつようになり、憎しみや悪意や嘘偽り、そして不敬虔や不誠実や不従順など、ありとあらゆる罪がもたらされてしまったのです。

人々は、創造主を排除した自分たちだけの世界を作り上げようとし、創造主からの祝福を失ってしまったのです。

## 最初の救いの福音

そして、創世記3章15節には原始福音と呼ばれる、救い主の最初の預言がなされています。そこには、

救い主は女の子孫として生まれる。救い主はサタンの頭を踏み砕く(人々をサタンの支配と永遠の死から解放する)。サタンはそれのかかどに噛み付くこと(救い主を十字架につける)とあります。

その後、旧約聖書を通して繰り返し救い主の預言がなされていきます。ですから、「救いの福音」は「永遠の福音」とは異なり、最初から必要だったわけではなく、アダムが罪を犯した時から必要になった福音です。

この約束は、墮落後の世界を生きるアダムとエバにとって大いなる慰めであり、旧約時代の歴代の信仰者たちにとっても、大いなる希望となりました。パウロは、アダムとキリストの救いの因果関係をはっきりと書いています。「すなわち、ちょうどひとりの人の不従順によって多くの人が罪人とされたのと同様に、ひとりの従順によって多くの人が義人とされるのです。」ローマ5:19

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。」ローマ3:23,24

このように、完全な最初の世界が造られ(創世記1-2章)、その世界が、アダムとエバの罪によって墮落し(創世記3章)、私たちの住む墮落後の世界が出現しました。これが歴史的事実だからこそ、私たちに救い主が必要なのです。

キリストは、今から約2000年前に父なる創造主から遣わされ、この世に来られました。キリストはその生涯を通じて父なる創造主に対して完全な愛と敬意と従順をもって従い、父なる創造主に対して一切罪を犯しませんでした。

罪の性質をアダム以来受け継いでしまった私たちには、そのように生きることはできません。聖書はすべての人が罪を犯したと宣言していて、どんなに善行を積んでも救われないのです。

そのために、罪のないキリストがすべての人の罪を身代わりに負って十字架にかかって死なれた



ジーザスカレッジ神学校での講義



バルナバス牧師とネパール首都カトマンドウにて

のです。そしてそれを信じるすべての人は救われるのです。

## 全ての罪の根源

救われた頃の私は、親に対する不従順、約束を守れない、嘘をついたなど、人間関係の中での罪を罪だと理解していました。もちろんこれらも罪ですが、創造を理解すればするほど、もっと罪は根深いものだと知りました。

今は創造主を認めないことこそすべての罪の根源だと考えるようになりました。

自分が造られたことを認めないために、人は創造主を愛することも尊敬することもできず、逆に、創造主に逆らい、創造主の心を痛めているのだと。

親不孝が、親の心を痛める悪いことだと誰もが知っているように、全人類が創造主に対して親不孝をしていることこそ、罪の根源なのだと思えるようになったのです。

ソロモン王は伝道者の書で次のように述べています。

「もうすべてのことは、言い尽された。創造主を恐れ、創造主の命令に従いなさい。これが人間の本

分である。」伝道者の書12章13節(創造主訳聖書)

## 被造物の救い

改めて書きますが、私たちが心に留めておかなければならないことは、私たちが墮落した世界に住んでいるということです。

人だけでなく動物が死んだり病気がかかったりするの、害虫も、最初からではなくアタムの罪の結果です。

パウロがローマ8:19-23でこう述べています。

「被造物も、切実な思いで神の子どもたちの現われを待ち望んでいるのです。それは、被造物が虚無に服したのが自分の意志ではなく、服従させた方によるのであって、望みがあるからです。」

被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由の中に入れられます。

私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。

そればかりでなく、御霊の初穂

をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にしていただくこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。」

「神の子どもたちの現れ」とは、やがて救われた人々が、新しい永遠の体を与えられ、完全に創造主の「子にしていただく」時のことです。その時、アダムとエバの罪によって墮落し呪われてしまったこの世界は、滅びの束縛から解放されて栄光の自由の中に入れられることが約束されています。

聖書が語る救いは、個人の救いだけでなく被造物すべてに及んでいるのです。「被造物が虚無に服した」のは、創世記3章でアダムが罪を犯したために自然界が呪われたことを指し、それが史実であることがここで語られています。それらアダムとエバの罪の結果強制的に呪われてしまった被造物も、やがて呪いから解放されることが約束されているのです。

## 創造主のかたちの回復

「あなたがたは、古い人をその行ないといっしょに脱ぎ捨てて、新



創造主に関心をもつ牧師たち

しい人を着たのです。新しい人は、造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです。」コロサイ 3:9,10

「なぜなら、神は、あらかじめ知っておられる人々を、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子となられるためです。」ローマ 8:29

アダムの罪によって人は本来もっていた創造主のかたちを失ってしまいました。

愛も正義も不完全になり、高慢になり、嘘や偽りが入りました。

しかし聖書は、キリストを救い主と信じた私たちが造り主のかたちを回復していくことを教えています。

創造主が完全な愛と正義をもつように、私たちも創造主の愛と正義に基づいて考え、敬虔で正直に生きられるようにと、変えられ続けていくのです。

そしてやがて私たちが新しい体を与えられる時、完全な御子のかたちを持つものとされるのです。

これは創世記 1-2 章にある堕落前のアダムが完全な創造主のかたちをいただいていたように、私たちも造り主のかたちを回復するのです。

### 創世記は歴史的事実

このように、創世記 1-3 章の天地創造と堕落が歴史的事実であったからこそ、御国が来ることを私たちは待ち望んでいます。

やがて御国が訪れる時に、被造物が虚無から贖われて回復し、キリストを救い主と信じた人の罪は完全にきよめられ、失われた創造主のかたちを完全に回復します。

そしてその時、天と地と海と水の源を造られた方の威光が、あらゆるところに及び、誰もが創造主を敬愛し、畏れをもって心からあがめるのです。

### お祈りください

- ・養成講座を通して、創造を語る人が起こされますように。
- ・創造セミナー参加者が多数与えられ、主のみわざが多くの人々に讃えられますように。
- ・アジア圏での創造宣教の働きが祝福されますように。

### 献金のお願い

国内外に創造のみわざを伝えるため、ぜひご支援ください。

ジェネシスジャパン

ゆうびん振替 00350-7-3364

ゆうちょ銀行 10650-52405611

### イベント案内

#### ■聖書と科学カンファレンス

2019/8/1 (木) 13:30 ~ 3 (土) 12:00

@ 撫岳荘 (山梨県山中湖村)

対象: キッズ・ユース・一般

#### ■ジェネシスジャパン

##### 秋の創造セミナー

2019/10/24 (木) 15:30 ~ 26 (土) 12:00

@ ホテルグリーンプラザ白馬(長野県)

対象: 一般

お問い合わせ・セミナーのご依頼は、  
ジェネシスジャパンまで

## 創造を伝える働き人養成講座

### 【募集要項】

- ・聖書の言葉が創造主の言葉だと信じる人。
- ・御子イエス・キリストを救い主と信じている人。
- ・創造を信じることの大切さを学び、伝えたいと願っている人。

### 講座の目的と概要

- \* 創造主のみわざのすばらしさに感動し、その感動を伝える働き人が起こされる
  - \* 創造論の講演に加え、創造論の背景となる知識や考え方を少人数で学ぶ
  - \* 創造を伝えるのに使える資料の提供
  - \* 修了証授与 (全日程参加者)
  - \* 創造論を用いての個人伝道、CS や教会でのメッセージ、講演ができるように協力
- 2泊3日5食・定員 12 名・参加費 3 万円

### 講座開催予定

山梨県・山中湖 2019/07/01 (月) ~ 03 (水)

詳細はジェネシスジャパンへお問い合わせください